

(抄訳)

AIGは、米国財務省によるAIG普通株式の売出しが完了したことを発表

ニューヨーク 2012年5月10日－アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）は、本日、売出株主である米国財務省による1株当たり額面2.50ドルのAIG普通株式188,524,589株（オーバー・アロットメント分をカバーするための引受人のオプションが全て行使されたことにより売却された24,590,163株を含む。）の証券登録された売出しが完了したことを発表しました。AIGは、本売出しにおいて、1株当たり30.50ドルの売出価格により、総額約20億ドルの購入額で65,573,770株のAIG普通株式を買い戻しました。オーバー・アロットメント・オプションの行使により、米国財務省が本売出しから得る手取金の額は約57.5億ドルにまで増加します。AIGは、米国財務省によるAIG普通株式の売却による手取金を全く受領しませんでした。

本売出しにより、米国財務省によるAIGにおける残りのTARP投資は、AIG普通株式約10.6億株（ニューヨーク証券取引所の2012年5月9日の終値に基づく市場価格は、約337億ドルです。）で構成される約290億ドルにまで減少し、米国財務省によるAIG普通株式の保有割合は約61パーセントにまで減少しました。米国政府の援助による借入残高または承認された援助額の合計は、現在、当初の1,820億ドルから79パーセント減少しました。

AIGのプレジデント兼CEOのロバート・H・ベンモシェは以下のように述べました。

「今回の売出しは、米国納税者がAIGに対する全ての投資を回収し、利益を得ることを確実にするため、AIGが努力を続けてきた証の一つです。我々は、この結果に大変満足しており、特にオーバー・アロットメント・オプションが行使されたことは、AIGに対してこれほどのサポートがあることを立証しています。我々は、米国政府のAIGにおける投資を減少させるため、引き続き米国財務省と協力し合い、AIGを、AIGの株主、顧客、パートナーおよび従業員のために価値を生み出すことに尽力する、より良い会社に再建することに取り組み続けます。」

#

本プレスリリースには1995年私募証券訴訟改革法（Private Securities

Litigation Reform Act of 1995) の意義の範囲内で「将来の見通し」に関する記述が含まれています。かかる将来の見通しに関する記述は、現時点での将来における事象に関するAIGの考えを反映しており、予測に基づいており、リスクおよび不確実性にさらされています。連邦証券法により要求される重要な情報の開示につきAIGが引き続き負う義務を除き、AIGは、将来の見通しに対する今後の修正に関して、本プレスリリースの日付以降に生じた事象および状況を反映させるために新たな情報を提供する予定はありません。

#

AIG グループは世界の保険業界のリーダーであり、130 以上の国で顧客にサービスを提供しています。AIG グループ各社は、世界最大級のネットワークを通して個人・法人のお客様に損害保険商品・サービスを提供しています。さらに、AIG グループ各社は、米国における生命保険事業およびリタイアメント・サービスの主要な事業者です。AIG の普通株式はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場されています。